

Hospital Umum Sarawak 面談概要

(4) Hospital Umum Sarawak

- 訪問日：2018年12月6日
- サラワク州の州都の国立病院。
- 先方からは、約5名が参加。画像診断装置関連の意見交換のための放射線科から、検査装置関連の意見交換のための検査関連の部署からも参加。
- 先方より、医療機器の調達についての説明があった。下記の内容を含むものであった。
 - 安い商品を購入すると、メンテナンスサービスなどの質が低いことがあり、問題となっている。
 - 現場の使用者は使い慣れたものを希望する。ただし、ブランドを指定しての調達はできない。
 - メンテナンスなどに際しては、エンジニアがサラワク州にはおらず、KLから来ることが多い。スペックの中にメーカーのResponse timeを入れることもある。
- 「シンプル医療機器」については、「エボラ出血熱やSARS (severe acute respiratory syndrome) のアウトブレイク、マラリアや狂犬病に備えたPOCTのニーズがある」というコメントがあった。
- 先方の案内で院内見学を行った。下記の内容を含むものであった。
 - 感染症のアウトブレイクに備えたPOCTの例としてAbbottのi-STATという機器が示された。
 - ラボの施設はPFIにて業者によって運営されており、Cost for Test(利用に応じた支払い)が採用されているとの説明があった。